

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 文財-06 永福寺跡環境整備事業 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	文化財課	関連課	歴史まちづくり推進担当				
分野名	歴史環境・文化						
目標 (目標値)	国指定史跡永福寺跡を保存・整備し、幅広く公開・活用を図る。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
事業の対価							
運営資源状況	決算値(千円)	76,909	140,802	53,812			
	(国・県)	51,195	93,697	26,902			
	(負担金等)	18,600	34,100	18,500			
	(一般財源)	7,114	13,005	8,410			
	人員配置数	1.5人	1.5人	1.5人			
	人件費(千円)	11,868	12,262	4,845			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	88,777	153,064	58,657			
	市民1人当りの経費(円)	499	864	331			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
整備の進捗状況(%)	○	目標値	40	45	60	75	100
		実績値	20	30	50	60	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
永福寺跡環境整備事業	76,909	史跡環境整備事業の一部	162,832	今後の方向性	B	理由・手法	史跡の適切な維持管理及び整備工事・防災工事等を実施。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	25年度分の整備工事は入札不調等により、事業規模が当初計画より縮小することとなった。							
課題解決のための取組	縮小した分の整備工事は、次年度以降の工程変更により、順次、実施する。平成27年度末の仮オープン予定を遅らせることのないよう、文化庁、神奈川県教育委員会と協議を行った。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決	
未解決の課題	平成25年度分整備工事の縮小による残り工事を、平成26年度に組込んだが、工事内容(施工範囲等)にずれ込みが生じたため、新たな平成27年度事業費の詳細が積算未了となっている。							
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	史跡永福寺跡整備委員会の助言等に基づき、国・県等と調整を行い、着実に事業を推進し、当初より予定している平成27年度末の仮オープンが遅れることのないように事業を進めていく。					A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ B		
※□事業完了								

評価者名

文化財課担当課長

吉田 宗一

